水稲中後期除草剤

レブラスギア１キロ粒剤

R7・継続

1．試験目的　除草効果の確認

2．試験内容

(1)実施場所　大鰐町　森山　　(2)実施農家　佐々木　崇

(3)実施支店　大鰐支店　　(4)担 当 者　寺田　佳洋

(5)概　　要

品種	はれわたり	ほ場の土性	埴壌土
代かき日	5月17日	移植日	5月20日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	2.0 cm／日	雑草状況	少

(6)試験構成

試験面積　60 a　（　試験区　30 a　対照区　30 a　）

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月20日	ソルネット	1kg　／10a	5月20日	ソルネット	1kg　／10a
6月5日	レブラスギア	1kg　／10a	6月5日	レブラス粒剤	1kg　／10a
		／10a			／10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴

3．試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○					○	○	○							
対照	○					○	○	○							

《効果判定》○：良く効いた。　□：あまり効かなかった。　×：ほとんど効かなかった。

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

(2)農家の意見

どちらも同じくよく効いた。

4．評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	**3**

(2)評価の理由

除草効果　対照区と同等のため。

実用性　対照区と同等のため。

使いやすさ　対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

水稲中後期除草剤

レブラスギア１キロ粒剤

R7・継続

1．試験目的　除草効果の確認

2．試験内容

(1)実施場所　弘前市船水　　(2)実施農家　石戸谷　久

(3)実施支店　弘前西支店　　(4)担 当 者　福田　静

(5)概　　要

品種　豊盃　　ほ場の土性　埴壌土

代かき日　5月16日　　移植日　5月22日

活着状況　良好　　生育状況　良好

減水深　2.0 cm／日　　雑草状況　無

(6)試験構成

試験面積　60 a　（　試験区　30 a　対照区　30 a　）

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月22日	エリジャン乳剤	300ml　／10a	5月22日	エリジャン乳剤	300ml　／10a
6月7日	レブラスギア粒剤	1kg　／10a	6月7日	レブラス粒剤	1kg　／10a
		／10a			／10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ

3．試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○							○	○						
対照	○							○	○						

《効果判定》○：良く効いた。　□：あまり効かなかった。　×：ほとんど効かなかった。

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

(2)農家の意見

どちらも良く効いていた。

4．評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	**3**

(2)評価の理由

除草効果　対照区と同等

実用性　対照区と同等

使いやすさ　対照区と同等

(3)その他特記事項

水稲初中期一発除草剤

センメツＺ1キロ粒剤

R7・新規

1．試験目的　除草効果の確認。

2．試験内容

(1)実施場所　弘前市清水森　　(2)実施農家　相馬　英一

(3)実施支店　弘前東支店　　(4)担 当 者　富島　斗亜

(5)概　　要

品種	はれわたり	ほ場の土性	埴壌土
代かき日	5月14日	移植日	5月17日
活着状況	普通	生育状況	普通
減水深	2.0 cm／日	雑草状況	少

(6)試験構成

試験面積　60 a　（　試験区　30 a　対照区　30 a　）

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月17日	センメツ1キロ粒剤	1kg　／10a	5月17日	ゼータタイガー1キロ粒剤	1kg　／10a
		／10a			／10a
		／10a			／10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	雨	晴	晴	雨	雨	雨	晴	雨

3．試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○					○			○						
対照	○					○			□						

《効果判定》○：良く効いた。　□：あまり効かなかった。　×：ほとんど効かなかった。

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

(2)農家の意見

作業性は問題なかった。
対照区より良く感じた。

4．評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	**3**

(2)評価の理由

除草効果　対照区より良い。

実用性　対照区と同等。

使いやすさ　対照区と同等。

(3)その他特記事項

水稲初中期一発除草剤

センメツZ１キロ粒剤

R7・新規

1．試験目的　除草効果の確認。

2．試験内容

(1)実施場所　弘前市八幡字須崎　　(2)実施農家　櫻庭　智昭

(3)実施支店　岩木支店　　(4)担 当 者　佐藤　龍彦

(5)概　　要

品種	はれわたり	ほ場の土性	埴壌土
代かき日	5月29日	移植日	5月31日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	2.0 cm／日	雑草状況	少

(6)試験構成

試験面積　40 a　（　試験区　20 a　対照区　20 a　）

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
6月6日	センメツZ1キロ粒剤	1kg　／10a	6月6日	ゼータタイガー1キロ粒剤	1kg　／10a
		／10a			／10a
		／10a			／10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	曇り	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ

3．試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○					○									
対照	○					○									

《効果判定》○：良く効いた。　□：あまり効かなかった。　×：ほとんど効かなかった。

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

(2)農家の意見

多少発生はあったが気になるほどでもなかった。

4．評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	**3**

(2)評価の理由

除草効果　同等

実用性　同等

使いやすさ　同等

(3)その他特記事項

雑草の発生は水口だけに見られた。

水稲初中期一発除草剤

センメツＺジャンボ

R7・新規

1．試験目的　除草効果の確認

2．試験内容

(1)実施場所　弘前市町田　　(2)実施農家　石戸谷　久

(3)実施支店　弘前西支店　　(4)担 当 者　福田　静

(5)概　　要

品種	まっしぐら	ほ場の土性	埴壌土
代かき日	5月18日	移植日	5月22日
活着状況	普通	生育状況	普通
減水深	1.5 cm／日	雑草状況	無

(6)試験構成

試験面積　60 a　（　試験区　30 a　対照区　30 a　）

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月24日	センメツZジャンボ	200ｇ　／10a	5月24日	カウントダウンジャンボ	400ｇ　／10a
		／10a			／10a
		／10a			／10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	曇り	曇り	雨	雨	晴れ	曇り	雨	雨

3．試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○					○	○	○	○						
対照	○					○	○	○	○						

《効果判定》○：良く効いた。　□：あまり効かなかった。　×：ほとんど効かなかった。

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

(2)農家の意見

どちらも効いていた。

4．評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	**3**

(2)評価の理由

除草効果　対照区と同等

実用性　対照区と同等

使いやすさ　対照区と同等

(3)その他特記事項

水稲初中期一発除草剤

センメツＺジャンボ

R7・新規

1．試験目的　除草効果の確認。

2．試験内容

(1)実施場所　大鰐町　唐牛　　(2)実施農家　藤田　勉

(3)実施支店　大鰐支店　　(4)担 当 者　赤石　真一朗

(5)概　　要

品種　はれわたり　　ほ場の土性　埴壌土

代かき日　5月21日　　移植日　5月24日

活着状況　普通　　生育状況　普通

減水深　2.0 cm／日　　雑草状況　少

(6)試験構成

試験面積　60 a　（　試験区　30 a　対照区　30 a　）

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月28日	センメツＺジャンボ	1kg　／10a	5月28日	ゼータタイガージャンボ	1kg　／10a
		／10a			／10a
		／10a			／10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	曇	雨/曇	雨/曇	晴	曇/晴	晴	曇	曇/雨

3．試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○					○									
対照	○					○									

《効果判定》○：良く効いた。　□：あまり効かなかった。　×：ほとんど効かなかった。

(2)薬害の発生　無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

(2)農家の意見

比較的良好であった

4．評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	**3**

(2)評価の理由

除草効果　対照区と同等。

実用性　対照区と同等。

使いやすさ　対照区と同等。

(3)その他特記事項

対象区の一部で田面が露出した部分があり、そこで雑草の発生を確認したが、評価には含んでいない。

水稲初中期一発除草剤

センメツZフロアブル

R7・新規

1. 試験目的　除草効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所　藤崎町俵舛　　(2)実施農家　工藤　忠彦

(3)実施支店　藤崎支店　　(4)担 当 者　鳴海　清志郎

(5)概　　要

品種	まっしぐら	ほ場の土性	埴壌土
代かき日	5月17日	移植日	5月19日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	1.0 cm／日	雑草状況	少

(6)試験構成

試験面積　70 a　（　試験区　40 a　対照区　30 a　）

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月27日	センメツZフロアブル	500mℓ　／10a	5月27日	ゼータタイガーフロアブル	500mℓ　／10a
		／10a			／10a
		／10a			／10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	曇り	雨のち曇り	曇りのち晴れ	晴れ	晴れ	曇りのち晴れ	晴れ	晴れのち曇り

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	□					□									
対照	□					□									

《効果判定》○：良く効いた。　□：あまり効かなかった。　×：ほとんど効かなかった。

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

(2)農家の意見

両区共に、前半若干のホタルイと後発のヒエが見られたが、問題ない程度だった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	**3**

(2)評価の理由

除草効果	同等
実用性	同等
使いやすさ	同等

(3)その他特記事項

水稲初中期一発除草剤

センメツＺフロアブル

R7・新規

1．試験目的　除草効果の確認

2．試験内容

(1)実施場所　青女子　　(2)実施農家　下山　和人

(3)実施支店　弘前北　　(4)担 当 者　長尾　紀夫

(5)概　　要

品種	まっしぐら	ほ場の土性	埴壌土
代かき日	5月15日	移植日	5月19日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	1.0 cm／日	雑草状況	少

(6)試験構成

試験面積　70 a　（　試験区　40 a　対照区　30 a　）

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月23日	センメツZフロアブル	500ml　／10a	5月23日	カウントダウンフロアブル	500ml　／10a
		／10a			／10a
		／10a			／10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	はれ	はれ	曇り	はれ	はれ	はれ	はれ	はれ

3．試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○					○	○	□	□						
対照	○					□	□	○	○						

《効果判定》○：良く効いた。　□：あまり効かなかった。　×：ほとんど効かなかった。

(2)薬害の発生　無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

(2)農家の意見

発生している雑草の種類によって使い分けすればいいのではないか。

4．評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	**3**

(2)評価の理由

除草効果　同等

実用性　同等

使いやすさ　同等

(3)その他特記事項

大豆殺虫剤

ミネクトエクストラＳＣ

R7・新規

1. 試験目的　防除効果の確認

2. 対象病害虫　マメシンクイガ、カメムシ類、ハスモンヨトウ

3. 試験内容

(1)実施場所　藤崎町亀岡　(2)実施農家　藤崎営農組合

(3)実施支店　藤崎支店　(4)担 当 者　鳴海　清志郎

(5)概　　要

作 物 名　大豆　品　　種　おおすず

作　　型　　栽植密度　畦幅 70 cm　株間 8 cm

播種・定植日　播種 ・ 6月3日　（10a当たり 17,850 本）

マルチ使用　無　収穫始め　10月15日

(6)試験構成

試験面積　200 a　（　試験区 100 a　対照区 100 a　）

試験区				対照区			
散布日	薬剤名	倍数	a当散布量	散布日	薬剤名	倍数	a当散布量
8月26日	ミネクトエクストラSC	80	0.08ﾘｯﾄﾙ	8月26日	アディオン乳剤	24	0.08ﾘｯﾄﾙ
〃	ファンタジスタフロアブル	16	0.08ﾘｯﾄﾙ				

4. 試験結果

(1)防除効果

対象病害虫	防除前発生状況	防除後被害状況	
		試験区	対照区
マメシンクイガ	少ない	少ない	少ない
カメムシ類	少ない	無	少ない
ハスモンヨトウ	少ない	無	無

(2)薬害の発生

無

(3)農家の意見

近年発生が見られているカメムシ類に効くのは良い。

5. 評価

(1)資材の評価

項目	散布効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	4	3	**4**

(2)評価の理由

散布効果　マメシンクイガについては対象区と差は見られなかった。
カメムシについては試験区の方が少なかった。

実用性　カメムシ類に効くため

使いやすさ　航空散布が可能なので使いやすさは今までと変わらないため。

(3)その他特記事項

大豆殺虫剤

ミネクトエクストラＳＣ

R7・新規

1. 試験目的　防除効果確認

2. 対象病害虫　マメシンクイガ、カメムシ類、ハスモンヨトウ

3. 試験内容

(1)実施場所　弘前市熊嶋　(2)実施農家　三上　優

(3)実施支店　岩木支店　(4)担 当 者　佐藤　龍彦

(5)概　　要

作 物 名　大豆　品　　種　おおすず

作　　型　　栽植密度　畦幅 70 cm　株間 8 cm

播種・定植日　播種　6月10日　（10a当たり 17,850 本）

マルチ使用　無　収穫始め　10月15日

(6)試験構成

試験面積　200 a　（　試験区 100 a　対照区 100 a　）

試験区				対照区			
散布日	薬剤名	倍数	a当散布量	散布日	薬剤名	倍数	a当散布量
9月20日	ミネクトエクストラSC	80倍	0.8ﾘｯﾄﾙ	9月20日	アディオン乳剤	24倍	0.8ﾘｯﾄﾙ

4. 試験結果

(1)防除効果

対象病害虫	防除前発生状況	防除後被害状況	
		試験区	対照区
マメシンクイガ	普通	少ない	少ない
カメムシ	少ない	少ない	少ない

(2)薬害の発生　無

(3)農家の意見

5. 評価

(1)資材の評価

項目	散布効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	4	3	**3**

(2)評価の理由

散布効果　マメシンクイガについては同程度。カメムシについては発生が少ないことから効果の差は判然としなかった。

実用性　近年目立ってきたカメムシも同時防除できるため。

使いやすさ　空散可能で今までの防除と変わらない。

(3)その他特記事項

等級検査などの結果を見てから評価する。

大豆殺菌剤

ファンタジスタフロアブル

R7・新規

1. 試験目的　防除効果の確認

2. 対象病害虫　菌核病、紫斑病、褐色輪紋病

3. 試験内容

(1)実施場所　藤崎町亀岡　(2)実施農家　藤崎営農組合

(3)実施支店　藤崎支店　(4)担 当 者　鳴海　清志郎

(5)概　　要

作 物 名　大豆　品　　種　おおすず

作　　型　　栽植密度　畦幅 70 cm　株間 8 cm

播種・定植日　播種 ・ 6月3日　(10a当たり 17,850 本)

マルチ使用　無　収穫始め　10月15日

(6)試験構成

試験面積　200 a　(　試験区 100 a　対照区 100 a　)

試験区				対照区			
散布日	薬剤名	倍数	a当散布量	散布日	薬剤名	倍数	a当散布量
8月26日	ミネクトエクストラSC	80	0.08ﾘｯﾄﾙ	8月26日	アディオン乳剤	24	0.08ﾘｯﾄﾙ
〃	ファンタジスタフロアブル	16	0.08ﾘｯﾄﾙ				

4. 試験結果

(1)防除効果

対象病害虫	防除前発生状況	防除後被害状況	
		試験区	対照区
紫斑病	無	少ない	少ない

(2)薬害の発生

無

(3)農家の意見

紫斑病が年々増えてきているため、このような剤が注文書にあるとありがたい。

5. 評価

(1)資材の評価

項目	散布効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	4	3	**3**

(2)評価の理由

散布効果　元々の発生量が少なかったため明らかな差を確認できなかった。

実用性　現状紫斑病に効く剤が注文書にないため

使いやすさ　航空散布が可能なので使いやすさは今までと変わらないため。

(3)その他特記事項

大豆殺菌剤

ファンタジスタフロアブル

R7・新規

1. 試験目的　防除効果の確認。

2. 対象病害虫　菌核病、紫斑病、褐色輪紋病

3. 試験内容

(1)実施場所　弘前市熊嶋　(2)実施農家　三上　優

(3)実施支店　岩木支店　(4)担 当 者　佐藤　龍彦

(5)概　　要

作 物 名　大豆　品　　種　おおすず

作　　型　　栽植密度　畦幅 70 cm　株間 8 cm

播種・定植日　播種　6月10日　(10a当たり 17,850 本)

マルチ使用　無　収穫始め　10月15日

(6)試験構成

試験面積　200 a　(　試験区 100 a　対照区 100 a　)

試験区				対照区			
散布日	薬剤名	倍数	a当散布量	散布日	薬剤名	倍数	a当散布量
9月20日	ファンタジスタフロアブル	16倍	800㎖				

4. 試験結果

(1)防除効果

対象病害虫	防除前発生状況	防除後被害状況	
		試験区	対照区
紫斑病	普通	少ない	多い

(2)薬害の発生　無

(3)農家の意見

散布区で紫斑病が少なかったので来年もぜひ使いたい。

5. 評価

(1)資材の評価

項目	散布効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	5	3	4

(2)評価の理由

散布効果　無散布区と比べ紫斑粒が少なかったため。

実用性　紫斑病対策の薬剤が当JAの暦にないので非常に実用性が高い。

使いやすさ　空散可能で今までの防除と変わらない。

(3)その他特記事項

等級検査などの結果を見てから評価する。